金津本陣IKOSSAに歴史を学びにいこっさ！

郷土歴史資料館 だより

MUSEUM.AWARA
◀ 郷土歴史資料館公式 Instagram はこちら

深ぼり！あわら市の蓮如さん伝説③　本願寺の財政基盤を成した名号

「おれほど名号書きたる人は、日本にあるまじきぞ」（『空善聞書』）。「日本一の名号書き」を自負した蓮如さんは、1日300幅もの名号をしたためたといわれています。また、「吉崎の道場と山科本願寺は門徒の志で建てたが、貯めていた名号の礼金で建立できたのが大坂本願寺である」（『拾塵記』）と語ったとされ、名号収入が本願寺の財政をいかに支えたかを象徴する伝承となっています。

さて、蓮如さんは吉崎での布教を始めて2年後の文明5年（1473年）、親鸞聖人著『正信偈』と『和讃』を合本して開版し、「町版」として商業出版するとともに、門徒たちにその読誦を勧めました（『本願寺作法之次第』）。プロテスタントのマルティン・ルター（1483～1546年）がドイツ語の新約聖書を印刷したのは1522年であり、それよりも半世紀近く前の快挙でした。

これは、一人でも多くの門徒に聖教を有償で広めるとともに、名号の下付を促進するための蓮如さんの経営戦略でした。この印刷事業は、豊かな経済力がなければ成し得ず、裕福な商人門徒をスポンサーとして抱えていたことを物語っています。

この結果、それまで僧侶の特権であった「お経をあげる」という宗教行為が、門徒たちにも開放されました。出版された聖教を門徒たちは喜びとともに買い求め、自宅でのお勤めに励むようになります。

そうなると必要となるのが本尊です。従来の仏教にはない、門徒だけの勤行を許された喜びとともに、彼らは蓮如さんの名号を次々と求めました。そして、それに伴って本願寺の収入も飛躍的に増加していきます。門徒と本願寺の双方に利益をもたらす、まさに「Win-Win」の戦略を推し進めたのが蓮如さんだったのです。（文：田井野 章浩）


▲ 名号以外にも布教の場で活躍した御文（津村別院蔵）

郷土歴史資料館（金津本陣 IKOSSA 2階）
休館日　月曜日・第4木曜日（祝日の場合はその翌日）
開館時間 9時30分～18時（最終入館 17時30分）
問合せ　☎73-5158　FAX 73-1038　maibun@city.awara.lg.jp

健康 ひとくちメモ

問合せ　健康長寿課　☎73-8023



喫煙・COPD

COPDをご存じですか？

COPD（慢性閉塞性肺疾患）は、主に長年の喫煙によって肺に炎症が起こり、呼吸機能が低下する病気です。進行すると息切れが強くなり、日常生活に支障をきたすことがあります。**早期発見・早期治療**、そして**禁煙**が大切です。

《こんな症状はありませんか？》

- □ 階段や坂道で息切れする
- □ せきやたんが続いている
- □ 風邪をひくとなかなか治らない
- □ 昔より歩くのがおっくうになった

※1つでも当てはまる人は注意が必要です。



紙巻たばこと加熱式たばこ

紙巻たばこと加熱式たばこには、いずれも有害物質が含まれており、現時点では加熱式たばこが紙巻たばこより健康への影響が少ないという科学的根拠は確認されていません。

	紙巻たばこ	加熱式たばこ
有害物質	含まれる	含まれる
健康への影響	明らか	研究継続中
受動喫煙	影響あり	影響の可能性あり

▲ 厚生労働省「たばこの健康影響に関する見解（令和8年7月時点）」より

禁煙によるうれしい効果

禁煙すると、次のような効果が期待できます。

- せきやたんが減る
- 呼吸が楽になる
- 肺機能の低下を遅らせることができる
- 心筋梗塞や脳卒中のリスクが下がる
- 周囲の人を受動喫煙から守ることができる

今日からできること

① たばこと健康について知る
② COPDの症状を確認する
③ 禁煙にチャレンジする
④ 家庭や職場で受動喫煙を防ぐ

あなたと大切な人の健康を守るため、できることから始めましょう。

▲ 厚生労働省「健康づくりサポートネット」


《ウロボロスのゆくえ》コラージュ B 2021年 ©Hiromi Tsuchida

第30回記念展 | アートドキュメント2026 |

土田ヒロミ 記憶と記録

ヒロシマ・ベルリン・エルサレム・私

10.24(sat)—12.13(sun)

「アートドキュメント」第30回の記念展として、南越前町出身で当館前館長でもある写真家・土田ヒロミ氏による写真展。日本社会を鋭く捉えた「ウロボロスのゆくえ」から、ヒロシマ、ベルリン、エルサレム、そして作家自身に迫る作品まで、2000年以降の代表作を故郷・福井で一堂にご紹介します。写真を通して時代や人々の記憶を見つめ、世界と自分自身に向き合う土田氏の作品世界を、ぜひ会場でご覧ください。



左：〈ヒロシマ・コレクション〉シリーズ《懐中時計　寄贈者：二川一夫 広島平和記念資料館所蔵》1982年
右：〈双子〉シリーズ《合わせ鏡》1975年

会　場／美術館 アートコア ミュージアム-1、ギャラリー
時　間／10：00～17：00（最終入場 16：30）
休館日／月曜日（祝日開館、翌平日休館）
観覧料／一般1,000円（800円）、中高生300円（200円）、65歳以上・障がい者 各半額、小学生以下・障がい者の介護者は無料　※（　）内は20人以上の団体料金

EVENT

会期中開催 土田善太郎の七宝焼作品販売



© 土田善太郎

— 略歴 —
1939年福井県生まれ。1964年福井大学工学部卒業。大阪の貿易商社勤務時代に七宝焼と出会い、1966年より独学で制作を始める。1967年、兵庫県西宮市で七宝工房「アンクルゼット」を主宰。国際七宝展への出展・入賞を経て、大阪・京都を中心に個展や百貨店での展示販売を行う。2021年には作家生活55年記念個展を開催し、現在も制作を続けている。


▲土田善太郎 七宝工房 HP

土田善太郎 七宝焼ワークショップ「クリスマスツリーのピンブローチづくり」



土田ヒロミ氏の双子の兄であり、七宝焼作家としても活躍する土田善太郎氏によるワークショップ。
クリスマスプレゼントにもぴったりのピンブローチを作ります！

日時　11月22日（日）午前の部 10：00-12：00
　　午後の部 14：00-16：00
会場　創作工房 創作学習室
講師　土田善太郎（七宝焼作家）
定員　各10人・先着申込順
料金　4,500円（税込）※作品持ち帰り可、箱付き
申込み　電話（73-7800）または申し込みフォーム
※定員に達し次第、締め切り

▲参加フォーム

●（公財）金津創作の森財団 事務局　TEL.73-7800　休館日 / 月曜日（祝日の場合開館、翌平日休館）
●森のキッチン　定休日 / 月・火曜日（祝日の場合営業、翌平日休業）